

*今からでも おそくはない
Now... Never say Never

FUTURE WAR
198X年

製作 渡辺亮徳 ■ プロデューサー 吉田達 ■ 企画協力 岩野正隆 ■ 脚本 高田宏治
監督 舩田利雄・勝間田具治 ■ イメージイラスト 生頼範義 ■ ヒロイン・コスチュームデザイン アンドレ・クレージュ
作画監督 須田正己 ■ 美術監督 辻 忠直 ■ 製作担当 横井三郎 ■ 配給 東映株式会社

DOLBY STEREO
IN SELECTED THEATRES



手に汗にぎる
サスペンス!
未来を誰が
救えるのか!

198X年、恐るべき近未来戦争。事故であれ、偶然であれ、それは確実に始まった。ソ連の最新戦闘爆撃機が亡命を求め西ドイツに不時着。クレムリンはその機密を守るため、強引な破壊工作に出た。だが、それを導火線として、世界は突如、全面戦争へ突入! 恐れられていた事態が、ついに現実のものとなった。思わぬ早さで拡大する戦火の渦。赤い小さな核のボタンを押すだけで、世界は一瞬に壊滅するという。そして、これはまだ、この壮大なドラマのほんのプロローグでしかない。

ソ連が核を使った時、アメリカはどんな報復に出るのか? 戦略核ミサイルはどこに落とされるのか? 日本に何が出来



空・陸・海の
魅力メカで迫る
ビッグスケールの
娯楽超大作!

この作品は、従来のアニメーションが架空の世界を舞台にしたのとは異なり、米ソのパワー・バランス、国家機密の争奪戦、戦略核ミサイル防衛システム、宇宙制空権など、現時点で望みうる限りの科学的、軍事的データをもとに近未来を設定した本格的SF娯楽超大作



日本映画界の
超一流スタッフが
総力を結集した
話題作NO.1!

である。世界の海で、陸で、空で、我々が初めて目にする最新戦闘メカが想像を絶する戦いを見せ、宇宙では、戦略核ミサイルを撃破するレーダー砲をそなえた戦闘衛星が、制空権をめぐって激しい攻防を繰り返すなど、メカ・アクションの壮烈な見せ場は出色。また、その戦いのまっ只中にのみ込まれ、愛し、苦悩する人々のドラマなど、この現実的なリアルさは、大人、子供、男女を問わず、すべての人々をグイグイとスクリーンの中へひきずり込み、思わず戦慄させずにはおかない。



イメージ・イラスト 生頼範義



この作品のスケールの大きさ、内容の面白さは、超一流のスタッフたちが集まった時に決定された。監督は「トラノヲ!トラノヲ!」の舛田利雄と、「宇宙戦艦ヤマト」で舛田監督とコンビをくんだ「わが青春のアルカディア」の勝間田具治。脚本は、やはり近未来の破滅の中で若者たちの愛を謳いあげた「復活の日」の高田宏治が執筆。ヒロインであるローラの衣裳デザインにはパリ・ファッション界で一大ブームを巻き起こしたアンドレ・クレージュ。「モード」の華麗な美の世界を、この作品の中に大きく開花させた。また、声優陣では北大路欣也、夏目雅子がそれぞれ主役を演じ、涙を誘う感動的な情感を盛りあげている。さらに、この作品のイメージ・イラスト・ストーリーを「スター・ウォーズ」の「復活の日」のイラスト・ポスターで知られる生頼範義氏が70数点を製作。これはこの作品が、従来のアニメーションと違う斬新な映像をもつための貴重なモチーフとなった。なお主題歌「愛ゆえに哀しく」をポプラが切々とうたいあげるラスト・シーンは印象的だ。

これら一流スタッフたちがいかなる作品を作り出したのか。今、あらゆる人々の熱い注目を浴びながら、公開の時は刻一刻と迫っている。「FUTURE WAR・198X年」これは、全世界必見のスーパー・リアルビジョンである。

劇場窓口にて前売券お買い上げの方に「生頼範義「198X年」メカニックイラストシート(4枚組プレゼント)」

前売券発売中

一般¥1,200 当日¥1,500の処
学生¥1,100 当日¥1,300の処
6館共通上映時間 連日 11:20 1:45 4:10 6:35

10月30日(土)ロードショー

新宿東急 (200) 1981

新宿映. パラス (351) 3061

渋谷 東急レックス (407) 7019

池袋東急 (971) 2727

浅草映. パラス (841) 8722

丸の内映. パラス (535) 4740